

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	高齢福祉室	事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業		
事業概要						
シルバーハウジング生活援助員派遣						
活動実績						
市内3カ所のシルバーハウジング入居者に対して、相談、助言、安否確認等を行う生活援助員を派遣。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	15,294	15,061	14,971	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
<ul style="list-style-type: none"> 生活相談及び安否確認 : 11,291回 関係機関との連絡調整 : 726回 緊急時の対応 : 35回 一時的な家事援助 : 473回 		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 入居者で身体レベルや特性が異なるなかで、個々に寄り添った丁寧なサービスの提供を継続しつつ、より効果的・効率的な事業運営に努める。				今後の実施計画の方向性・内容
					継続	
					サービスの質の維持や、より効果的・効率的な事業運営に努める。	

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防・生活支援サービス事業		
事業概要						
介護予防・生活支援サービス						
活動実績						
【介護サービス提供事業所の取組を評価する広報インセンティブ実施による拡充】		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	819,187	807,971	819,476	
要支援者・基本チェックリスト該当者が利用する高齢者安心・自信サポートサービスの訪問型サービスと通所型サービスを提供する事業者に対し、サービス費用を給付。 <ul style="list-style-type: none"> 訪問型サポート件数 19,065件 通所型サポート件数 19,848件 訪問型短期集中サポートサービス相談件数 114件 訪問型短期集中サポートサービス利用件数 23件 基本チェックリスト実施件数 91件 		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。要支援者等の生活行為等の状態の改善につながるよう、自立支援型ケアマネジメント会議及び研修会の運営を行う。 自立支援・重度化予防に資する広報インセンティブの普及に努める。 高齢者の増加に伴い、高齢者安心・自信サポート事業の内容を引き続き検討し、訪問型サービスについては基準緩和型の創設に向けた検討を行う。				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容	
					継続	

3	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防ケアマネジメント事業		
事業概要						
介護予防ケアマネジメント						
活動実績						
【居宅介護支援事業所の取組を評価する広報インセンティブ実施による拡充】		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	104,011	100,562	98,728	
要支援者・基本チェックリスト該当者が高齢者安心・自信サポートサービスを利用した際の介護予防ケアマネジメント（ケアプラン）作成の費用を事業者へ給付。 <ul style="list-style-type: none"> 給付件数 19,879件 広報インセンティブ付与 1件 		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。 本事業の事業規模については高齢者安心・自信サポート事業の内容や規模が基礎となるため、高齢者の増加に伴い、高齢者安心・自信サポート事業の内容を検討していく。				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容	
					継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防事業	
事業概要					
介護予防普及啓発、介護支援サポーター、住民主体の介護予防活動支援、地域リハビリテーション活動支援					
活動実績					
【ICTを活用した認知機能維持・向上教室実施による拡充】 【通いの場出欠・機能評価管理システム導入による拡充】 【はつらつ元気レシピ集メニュー追加による拡充】 (1) 介護予防普及啓発 はつらつ体操教室 24コース (実施回数 272回 ・参加者数 213人・延参加者数 1,993人) ひろばde体操 ・実施回数 730回 ・延参加者数 21,630人 ・会場数 21会場 脳いきいき教室 3コース (参加者数 36人 ・延参加者数 643人) (2) 介護支援サポーター ・新規登録者数 26人 ・年度末登録者数 406人 (3) 住民主体の介護予防活動支援 いき百フォロー講座 ・実施回数 273回 ・延参加者数 3,068人 介護予防推進員登録者数 123人 (4) 地域リハビリテーション活動支援 自立支援型ケアマネジメント会議 ・開催数 12回 ・延参加者数 270人 言語聴覚士による集団指導・個別指導実施数 8回	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額 (千円) 15,223 12,791 23,420 一般財源の比率 (%) 0.0 0.0 0.0 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (3) 介護予防推進員の登録者数が横ばいであるため、教室や講演会、SNS等での周知を行う。				

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	高額医療合算介護予防サービス費相当事業	
事業概要					
高額医療合算介護予防サービス費相当費支払					
活動実績					
医療保険各制度において世帯内の同一の医療保険の加入者について、1年間（毎年8月1日から7月31日）の医療保険と高齢者安心・自信サポート事業との自己負担合計額が上限を超えた場合に、その超えた額を給付。 ・給付件数 116件	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額 (千円) 2,277 1,996 1,874 一般財源の比率 (%) 0.0 0.0 0.0 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。 本事業の事業規模については高齢者安心・自信サポート事業の内容や規模が基礎となるため、高齢者の増加に伴い、高齢者安心・自信サポート事業の内容を検討していく。				

6	所管室課	高齢福祉室	事業名	高額介護予防サービス費相当事業	
事業概要					
高額介護予防サービス費相当費支払					
活動実績					
高齢者安心・自信サポート事業の訪問型サービス及び通所型サービスの利用者が支払った1か月あたりの自己負担額が、世帯合算で上限を超えた場合に、世帯に給付。 ・給付件数 607件	年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	決算額 (千円) 1,856 1,738 1,714 一般財源の比率 (%) 0.0 0.0 0.0 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。 本事業の事業規模については高齢者安心・自信サポート事業の内容や規模が基礎となるため、高齢者の増加に伴い、高齢者安心・自信サポート事業の内容を検討していく。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	在宅生活支援事業		
事業概要 介護用品支給、高齢者・介護家族電話相談、救急医療情報キット配布、緊急通報システム（人感センサー含む）						
活動実績						
高齢者を自宅で介護している家族に介護用品を支給した。 高齢者・介護家族電話相談は閉庁時間帯における高齢者や介護家族の相談を行うことで安心して暮らせるとともに介護家族の負担を軽減した。 また、ひとり暮らし高齢者等に救急医療情報キットを配布することによって、高齢者の安心安全を図った。 (1) 介護用品支給 ・延べ利用者数 1,062人 (2) 高齢者・介護家族電話相談 ・延べ相談件数 513件 (3) 救急医療情報キット配布 ・新規申請者数 575人 ・救急キット活用件数 39件 ・延べ申請者数 16,647人 (4) 緊急通報システム（人感センサー含む） 通報の受信と駆けつけ費用を支出		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充・縮小 (1) 一般会計へ移管のため縮小 (4) 人感センサーの拡充
決算額（千円） 11,730		20,485	21,098	一般財源の比率（%） 0.0		
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (1) 介護保険地域支援事業任意事業での執行について令和5年度末で終了予定との国通知を受けている。在宅の重い介護度の高齢者と家族を支援する制度であるため、一般会計への移管を検討している。 (4) 高齢者の見守りの機能である人感センサーの対象者拡充について、一般会計の在宅福祉サービス事業の内容と合わせた再編を検討している。						

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	審査支払手数料事業		
事業概要 審査支払手数料						
活動実績						
高齢者安心・自信サポート事業のサービス提供事業者への給付費支払を委託している大阪府国民健康保険団体連合会へ支払う給付費審査の支払手数料。 ・審査件数 58,792件		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
決算額（千円） 2,898		2,779	2,755	一般財源の比率（%） 0.0		
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 高齢者の増加に伴う事業費の増大を想定し、総合事業交付金に係る上限超過の可能性を視野に入れた事業運営が必要。 本事業の事業規模については高齢者安心・自信サポート事業の内容や規模が基礎となるため、高齢者の増加に伴い、高齢者安心・自信サポート事業の内容を検討していく。						

9	所管室課	高齢福祉室	事業名	成年後見制度利用支援事業		
事業概要 成年後見制度利用支援						
活動実績						
判断能力が不十分な認知症高齢者等が、成年後見制度による保護を受けることにより、その者の意思を尊重し、その者の権利が守られるよう支援した。 ・市長申立件数 7件 ・親族本人申立件数 2件 ・市長申立分報酬助成件数 8件 ・親族本人申立分報酬助成件数 62件		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 ■ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充 報酬助成の対象となる成年後見人等の職種を拡充
決算額（千円） 12,985		14,562	15,622	一般財源の比率（%） 0.0		
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 吹田市成年後見制度利用促進計画の取組として令和6年度当初中核機関の開設が検討されている。市民が制度利用にアクセスしやすい環境を整備していく必要がある。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

10	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（地域包括支援センター・維持）		
事業概要						
千里ニュータウンプラザ施設管理						
活動実績						
桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの維持管理経費を支出した。 ・決算内訳 合計 5,801千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理） 3,906千円 光熱水費 960千円		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）	4,407	5,801	4,866	
		一般財源の比率（%）	0.0	0.0	0.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						
特になし。						

11	所管室課	高齢福祉室	事業名	通い・集いの場介護予防事業		
事業概要						
街かどデイハウス介護予防、ふれあい交流サロン介護予防						
活動実績						
(1) 街かどデイハウス介護予防 ・街かどデイハウス運営団体：7団体 ・介護予防事業延参加者 11,573人 (2) ふれあい交流サロン介護予防 ・高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数 11団体 ・延べ利用者数：33,875人（うち介護予防取組利用者：4,327人）		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 (2)は12か所の設置目標を達成するため、引き続き運営団体の募集を行う。
		決算額（千円）	16,818	18,994	22,183	
		一般財源の比率（%）	0.0	0.0	0.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						
(1) 街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。 (2) ふれあい交流サロンの設置目標を12か所としていたが、現状では11か所であり、また設置数が足りていない。						

12	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症サポーター養成事業		
事業概要						
認知症サポーター養成						
活動実績						
市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成した。 ・講座開催数 42回 ・認知症サポーター養成数 952人 ・年度末累計サポーター数 28,386人 ・キャラバンメイト養成研修受講者数 5人 ・年度末キャラバンメイト登録者数 307人 ・認知症サポーターステップアップ講座 90人		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）	66	679	146	
		一般財源の比率（%）	0.0	0.0	0.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						
コロナ禍のためオンラインを活用し、認知症サポーターの受講者数の増加を図った。 チームオレンジの立ち上げの準備のため、認知症サポーターステップアップ講座を開始した。 今後、チームオレンジを立ち上げ、認知症の方等と認知症サポーターを結びつけるような活動を目指す。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

13	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症高齢者見守り事業		
事業概要						
徘徊高齢者SOSネットワーク、徘徊高齢者家族支援サービス、認知症地域サポート						
活動実績						
認知症高齢者等が徘徊行動により行方不明になった場合に備えて、早期発見ができるネットワークの構築及び運用を図り、市全体で高齢者を見守り支えることで高齢者の安全を守り、その家族の精神的負担を軽減した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	1,686	1,129	1,221	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
(1) 徘徊高齢者SOSネットワーク（みまもりあいステッカー、アプリ） ・利用者数 183人 ・アプリダウンロード数 7,799件 ・アプリによる延探索依頼件数 291件 ・ID転送通報延件数 211件		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
(2) 徘徊高齢者家族支援サービス ・年度未実利用者数 18人 ・延利用者数 289人		(1)(2)徘徊高齢者家族支援サービスの位置検索システム（専用端末機等の貸し出し）を、徘徊高齢者SOSネットワーク（みまもりあいステッカーとアプリ）による探索）事業と一体的に再編した。				継続
(3) 認知症地域サポート ・実績なし		(3)実施地区募集の広報を行ったが、コロナ禍の影響が応募がない状況。小規模単位での徘徊高齢者検索模擬訓練マニュアルの整備や訓練の意義について、市報やホームページ等での啓発を行い、訓練を通じた地域ネットワーク構築の推進を図る。				

14	所管室課	高齢福祉室	事業名	認知症施策推進事業		
事業概要						
認知症初期集中支援推進、認知症地域支援・ケア向上						
活動実績						
認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の整備や医療と介護の連携強化による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図った。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	16,810	16,930	17,716	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
(1) 認知症初期集中支援推進 ・相談件数 83件 支援対象者数 56人（うち新規38人） ・延べ訪問回数 424回 ・支援終了件数 38件 ・チーム会議開催回数 45回		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
(2) 認知症地域支援・ケア向上 ・年度未認知症カフェ数 18か所		(2)認知症の人や家族のための集いの場や、認知症高齢者グループホーム等の事業者との連携による認知症伴走型支援事業の構築により、地域における認知症支援体制の整備を行う。				拡充
(1)(2) ・選定等委員会開催数 1回						(2) 認知症伴走型支援事業

15	所管室課	高齢福祉室	事業名	包括的支援・社会保障充実事業		
事業概要						
在宅医療・介護連携推進、生活支援体制整備、地域ケア会議開催						
活動実績						
【インフォーマルサービスのシステム化による拡充】 【すいた年輪サポートなびの掲載対象医療機関追加による拡充】 高齢者の多様なニーズに応えるために生活支援サービスの体制整備や支援が包括的に行えるようなネットワークづくり、医療と介護を一体的に行う事業に取り組んだ。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	15,086	15,200	18,417	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
(1) 在宅医療・介護連携推進 ・協議会開催数 1回 ・ケアネット実務者懇話会 1回 ・ケアネット実務者懇話会作業部会 3回 ・ケアマネ塾 2回 ・多職種連携研修会参加数 51人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
(2) 生活支援体制整備 ・協議会開催数 3回 ・専門職向け研修 1回 ・すいた年輪サポートなびの生活サポート掲載数 233件		(1)「すいた年輪サポートなび」に高齢者生活サポート情報について掲載した。今後、情報の充実やSNS等による同なびの周知を図る。				継続
(3) 地域ケア会議開催 ・地域包括ケア会議 1回 ・実務者連携会議 1回 ブロック別・地域別定例会 26回 ・随時会 2回 ・研修会（地域福祉フォーラムで福祉総務室の合同） 1回						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業		所管部局 福祉部

16	所管室課	高齢福祉室	事業名	包括的支援事業					
事業概要									
包括的支援、委託型地域包括支援センター、地域包括支援センター運営協議会運営									
活動実績					年度	R2	R3	R4	評価の視点
地域の高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする地域包括支援センターを運営した。 (1) 包括的支援 ・相談件数（市内全体）28,774件 （権利擁護 2,190件 ケアマネジャー支援等 1,684件 介護保険サービス等 24,900件） ・相談件数（基幹型）2,245件 （権利擁護 580件 ケアマネジャー支援等 12件 介護保険サービス等 1,653件） (2) 委託型地域包括支援センター 15包括支援センターを委託 (3) 地域包括支援センター運営協議会 ・開催数 2回					決算額（千円）	337,497	333,860	329,971	
					事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 委託型地域包括支援センターについて、三職種4人体制であったが、令和5年度から三職種5人へと体制を強化している。 相談件数は年々増加傾向にあり、複合的な課題を抱えた相談への対応や地域活動の多様化に伴い、地域包括支援センターに求められる機能が発揮できるよう、安定した体制の維持については引き続き注視していく必要がある。				

17	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護相談員派遣事業					
事業概要									
介護相談員派遣									
活動実績					年度	R2	R3	R4	評価の視点
(1) 派遣施設 ・令和2年度 38施設 ・令和3年度 38施設 ・令和4年度 38施設 (2) 活動回数 ・令和2年度 0回（新型コロナウイルス感染症により活動休止） ・令和3年度 1回（新型コロナウイルス感染症により介護相談員連絡会のみ実施） ・令和4年度 0回（新型コロナウイルス感染症により活動休止） (3) 介護相談員数 ・令和2年度 24人 ・令和3年度 23人 ・令和4年度 19人					決算額（千円）	131	275	34	
					事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和2年度から令和4年度まで新型コロナウイルス感染症予防のため、部外者の施設訪問が難しい状態が続き、活動を休止していたが、令和5年度は介護相談員の受入れが可能となった事業所から順次再開している。 介護相談員の退任が続いており、全施設で受入れが可能となった際には介護相談員の確保が課題となる。				

18	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護給付費適正化事業					
事業概要									
介護給付費通知、介護給付費等分析									
活動実績					年度	R2	R3	R4	評価の視点
(1) 給付費通知 ・送付回数 各年度2回 ・送付件数 令和2年度 32,283件 令和3年度 33,083件 令和4年度 33,931件 (2) 介護給付費等分析 ・算定内容を確認した事業所数 令和2年度 202事業所 令和3年度 67事業所 令和4年度 58事業所 ・対象件数 令和2年度 1,027件 令和3年度 134件 令和4年度 116件 ・算定誤りによる返還額 令和2年度 22,159円 令和3年度 2,887円 令和4年度 60,704円					決算額（千円）	4,169	4,788	5,395	
					事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (1) 給付費通知 対象者が年々増加しており、事業費が拡大している状況が続いている。 (2) 介護給付費等分析 対象となる給付実績が多く、一部の実績が照会をかけることができていない。居宅介護支援事業所に対して、必要な助言を行うのに専門的な知識や経験が必要。多くの事業所に照会をかけるのには多くの時間を必要とする。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	介護保険（地域支援）事業	所管部局	福祉部

19	所管室課	高齢福祉室	事業名	住宅改修支援事業			
事業概要							
住宅改修支援							
活動実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点	
(1) 助成件数 ・令和2年度 12件 ・令和3年度 14件 ・令和4年度 29件		決算額 (千円)	24	28	58	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0		
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題							
本来、介護報酬での対応が望ましいが、現行制度では本事業を継続する必要がある。							

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容	
		一般財源の比率(%)					
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題							

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R2	R3	R4	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容	
		一般財源の比率(%)					
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護予防サービス計画等作成事業		
事業概要						
介護予防サービス計画等作成						
活動実績						
平成31年4月に地域包括支援センターの直営は基幹型（高齢福祉室）のみとなり、サービス計画策定は終了した。 委託型包括支援センターの後方支援として、対応困難、緊急対応ケース等のケアプラン作成が生じた場合に備えて、高齢福祉室を指定介護予防支援事業者として登録しているが、実績はなし。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	0	16	0	
		一般財源の比率(%)	0.0	100.0	0.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	継続
		特になし。				

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業		
事業概要						
高齢者虐待対応短期入所生活介護						
活動実績						
高齢者に対する虐待を防止し、高齢者の自己決定の尊重と権利擁護を図る。利用実績なし。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	0	0	0	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	継続
		特になし。				

3	所管室課	高齢福祉室	事業名	在宅福祉サービス事業		
事業概要						
高齢者日常生活用具給付等、緊急通報システム(人感センサー含む)、高齢者寝具乾燥消毒サービス、配食サービス、高齢者訪問理美容サービス、高齢者支援事業者との連携による見守り、高齢者家具転倒防止器具設置助成						
活動実績						
配食サービスや日常生活用具の給付等を行い、高齢者の福祉の増進を行った。 (1) 高齢者日常生活用具給付等 ・高齢者電話 11件 ・電磁調理器 29件 ・老電基本料金件数 940件 ・老電年度末設置台数 72台 (2) 緊急通報システム(人感センサー含む) ・給付件数 136件 ・年度末設置数 1,359台 人感センサー ・給付件数 5件 ・年度末設置数 9台 (3) 高齢者寝具乾燥消毒サービス ・延実施件数 1,865件 ・当日辞退件数 81件 (4) 配食サービス ・総件数 51,717件 ・延利用者数 3,113人 ・検便実施件数 388件 (5) 高齢者訪問理美容サービス ・延利用件数 36件 (6) 高齢者支援事業者との連携による見守り ・年度末協力事業者数 622事業者 (7) 高齢者家具転倒防止器具設置助成 ・助成件数 1件		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	51,648	39,000	34,970	
		一般財源の比率(%)	99.8	99.8	99.7	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	拡充・縮小 (2) 人感センサーの拡充 (4) 廃止 (5) 拡充 他
		(2) 人感センサーについて、在宅での安全確保のため、利用者の拡大を図る。 (4) 民間配食サービスの充実等により、令和5年度末をもって終了する。 (5) 介護度の重い高齢者の在宅生活を支援するため、助成額の見直しを図る。 (その他) 社会情勢の変化を踏まえ、サービス内容の選択と集中に一体的に取り組む。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	診断料助成事業		
事業概要						
診断料助成						
活動実績						
(1) 助成件数 ・令和2年度 363件 ・令和3年度 449件 ・令和4年度 402件		年度 決算額 (千円)	R2 5,617	R3 5,607	R4 6,239	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 現在、生活保護受給者を除くすべての市民が対象となっているため、持続可能な事業の構築が課題である。						
継続						

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（地域包括支援センター・財産）		
事業概要						
千里ニュータウンプラザ施設管理						
活動実績						
桃山台・竹見台地域包括支援センターが設置されている、千里ニュータウンプラザの公有財産購入に伴う支出。 管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 7,484千円		年度 決算額 (千円)	R2 7,989	R3 7,860	R4 7,484	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 特になし。						
継続						

6	所管室課	高齢福祉室	事業名	通いの場補助事業		
事業概要						
通いの場補助						
活動実績						
介護予防又は生活支援を要する高齢者を対象に、健康チェック、給食、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防やレクリエーション活動等のサービスを提供する場（街かどデイハウス）を運営する者に対して、補助金を交付した。 街かどデイハウス運営団体数 7団体 街かどデイハウス延利用者数 11,641人		年度 決算額 (千円)	R2 22,793	R3 24,883	R4 26,982	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 街かどデイハウスの運営スタッフが高齢になっており、次の担い手が不足している。						
継続						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	312	施策	暮らしを支える支援体制の充実
管理事業	高齢者支援事業	所管部局	福祉部

7	所管室課	高齢福祉室	事業名	福祉クーポン券交付事業		
事業概要						
通院困難者タクシークーポン券、はり・きゅう・マッサージクーポン券						
活動実績						
高齢者に通院困難者タクシークーポン券を交付することで、通院の利便性向上を図った。また、高齢者の健康保持のため、はり・きゅう・マッサージクーポン券を交付した。 (1) 通院困難者タクシークーポン券 ・交付者数 991人 ・交付枚数 23,784枚 ・使用枚数 9,727枚 ・クーポン券使用事業者数 99事業者 (2) はり・きゅう・マッサージクーポン券 ・交付者数 256人 ・交付枚数 1,409枚 ・使用枚数 730枚 ・クーポン券使用施術所数 47か所		年度 決算額(千円) 7,500 一般財源の比率(%) 99.9	R2 8,732 99.8	R3 9,103 99.9	R4 9,103 99.9	評価の視点 ※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 (1) クーポン交付枚数及び助成額が年々増加しており、また交付要件の緩和を求める声もあるニーズの高い助成事業である。事業の持続可能性を考慮したうえで、利便性の向上を図ることができる方法を検討する。 (2) 交付枚数及び使用枚数が減少傾向にあるため、今後の方向性の検討が必要。						

8	所管室課	高齢福祉室	事業名	福祉の措置事業		
事業概要						
養護老人ホーム入所措置、やむを得ない措置						
活動実績						
高齢者に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じた。 (1) 養護老人ホーム入所措置 ・延べ措置者数 217人 ・年度末措置者数 19人 ・新規入所者数 3人 ・退所者数 2人 (2) やむを得ない措置 ・措置者数 0人		年度 決算額(千円) 61,841 一般財源の比率(%) 79.3	R2 53,779 79.0	R3 44,850 81.2	R4 44,850 81.2	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 特になし。						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度 決算額(千円)	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率(%)				継続
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名